

本山で50年に一度のご勝縁□1
 仏教いろは問答□2
 新・相蹟点描□3
 青色青光、過疎問題とお寺□4
 ニュースと催し、会計決算□6
 行事予定、響流十方□7
 つれもて聴こら□8



2023年(令和5年)
 1月1日
 第134号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 Tel.(073)422-4677 URL http://saginomori.or.jp/

3月29日から

本山で50年に一度のご勝縁

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

本山・西本願寺で3月29日から「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が始まる。宗祖親鸞聖人(1173~1262)がご誕生されて850年という節目の年を迎えることを祝い、また親鸞聖人が浄土真宗の根本聖典である「顕浄土真実教行証文類」(「教行信証」)を撰述された1224年(元仁元年)が立教開宗の年とされているため、この年から800年になることに感謝して、5月21日までの間、5期30日間にわたって法要が勤められる。

本山門前に立つ慶讃法要の高札



和歌山から1900人が団体参拝

法要は、午前10時からと午後2時からの一日二座(原則)、全国のお寺から1400人が親鸞聖人の御真影(お木像)を安置する

西本願寺に全国から集う



親鸞聖人ご誕生から850年、立教開宗から800年の節目を迎え法要が勤められる。(写真は伝灯奉告法要のにぎわい)

法要参拝の基本日程

時間	内容
9:15~9:30	入堂着席
9:35	日程説明・記念布教
10:00~11:00	慶讃法要(午前)
11:45ごろ	帰敬式
13:15~13:30	入堂着席
13:35	日程説明・記念布教
14:00~15:00	慶讃法要(午後)
15:45ごろ	帰敬式

※慶讃法要の会場は御影堂、帰敬式は阿弥陀堂

御影堂ごえいどうに集い、50年に一度のご勝縁を共にする。和歌山教区からは、3月30日午前の法要に海南組(120人)と伊那組浄願寺(10人)が参拝するのを皮切りに、約1900人が団体参拝する予定。お勤めは、新たに制定された「新制 御本典作法」。「教行信証」(御本典)のお言葉で構成された新しいお勤めの響きが法要を彩る。法要参拝に伴い、西本願寺の書院や飛雲閣などを拝観できるほか、各法要後は阿弥陀堂で帰敬式(おかみそり)を受け、仏弟子としての名乗りである法名ほつみやうを頂くこともできる。

龍谷ミュージアムで「真宗と聖徳太子」展

龍谷ミュージアムでは、

4月1日から5月28日まで春季特別展「真宗と聖徳太子」を開催(4月17日、5月1、15、22日は休館)。団体参拝に関するお問い合わせは、各寺院まで。

〈6面に関連記事〉

若葉と純真の

仏教いろは問答

7

▽「悪人正機」の悪人ってだれのこと？



若センセ純真



若葉

すっかり冷え込みが厳しくなつたある冬の日の夕方、お寺の前の道路で落ち葉を掃いていた純真のもとに、若葉が駆け寄ってきた――。

若葉 純真さん、質問があります！

純真 おや、若葉さん。寒いのに元気だね。どうしたの？

若葉 このお寺は浄土真宗だつて前に言っていましたよね。日本史の授業で「浄土真宗」が出てきました！

純真 そうなんだ、なんかうれしくなるね。どんな話が出てきたの？

若葉 えっと、鎌倉時代に親鸞って人が開いて、「悪人正機説」を唱えつつていうのは聞きました。でも、悪人正機の意味が分か

らなくて…せっかくお坊さん知り合いだからと思つて聞きに来たんです。

純真 勉強熱心だね。確かに悪人正機とだけ言われても何のことか分からないと思うけど、浄土真宗ではとても大事な教えだよ。

親鸞聖人のお言葉をまとめた『歎異抄』という書物があるんだけど、その第三条に「善人なほもつて往生をとぐ、いはんや悪人をや」という言葉が出てくるんだつまり「善人ですら往生できさるのだから、まして悪人は言うまでもなく往生できる」というんだね。「往生」というのは仏さまの世界に生まれるということ、阿弥陀さまに救われるということなんだけど。

若葉 へえ…ええ？

善人と悪人、逆じゃないですか？ 悪人よりも善人の

方が救われるんですよ。『歎異抄』にはあえて常識を逆なでしてするように受け取れる言葉がいろいろあって、それが魅力でもあるんだけど…じゃあ、若葉さんは善人と悪人ってどんな人だと思ふ？

若葉 善人は人のためになることをした人とか性格がいい人とかかな。悪人は



イラスト=いぶりん

人を傷つけたり、罪を犯した人みたいな感じ？

純真 普通はそう思うよね。だけどここでいう善人というのは、難しい言葉で「自力作善」とあるんだけど、自分の力で仏さまに近づいたための善い行いができると思っている人、反対に悪人というのは、これも難しい表現で「他力をたのみたてまつる悪人」とあるんだけど、自分には善いことをする力なんかないと自覚して阿弥陀さまにおまかせするしかないと思つている人のことをいうんだ。

若葉 : 私がイメージしてたのとだいぶ違うなあ。純真 うんうん。もっと言えば、自分で善人だと思つてる人も仏さまから見たら本当に善人なんだろうかといいこともあるよね。根本的なところから言うと、そもそも阿弥陀さまは、ぼくたちを何としても救わなければと思つておられるんだ。そんなふうに仏さまの救いの目当て、つまり「正機」になるからには、自分は仏

さまとはまったく正反対のありようをしているに違いないと親鸞聖人は思われて、ご自分を「悪人」と捉えられたということなんだ。

若葉 うーん…そうすると私たちも仏さまには悪人に見えてるのかなあ。もしかして不良みたいな感じ？

純真 ハハハ。不良みたいにわざと悪ぶってるのは、まだいいんだけど…。それよりも問題なのは、自分が本当は阿弥陀さまの目当てでありながら、そのことに気付かず善の側に立っていると思い込んでいる人だということだね。そういう人は自力のころをひるがえす必要があると。

若葉 一度にいろんなことを聞いて頭がパンクしちゃうんですけど、私、仏さまって自分がお願いごとをするのかと思つてたんです。純真 ああそうか。本当はその辺りから話をしたらよかったね。でもとにかく浄土真宗に興味を持ってくれてありがとう。

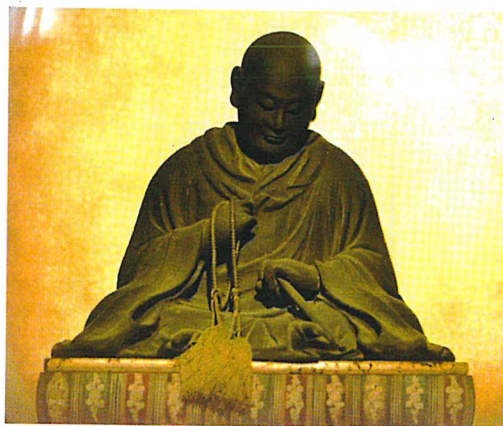
(本紙・辻本真一朗十大須賀拓善

新

祖蹟点描

36 六角堂 ⑩

六角堂の境内にある親鸞堂に安置されている「夢想之像」



惠信尼公のお手紙と『伝絵』で「夢告」を表す言葉に違いが

夢告・ご示現・夢想

さまや菩薩さまが夢のなか
に化身となって現れ、何か
を告知することの意でも用
いられるが、その場合は夢
告とほぼ同じ意味になる。
では、六角堂参籠に関す
る貴重な史料でもある、親
鸞聖人のひ孫・覚如上人が
制作された『本願寺聖人親
鸞伝絵』では、夢告を表す
のにどのような言葉が使わ
れているのだろうか。

親鸞聖人の六角堂参籠に
ついて問題にされている3
つ目の点は、夢告によって
授けられた「ご示現の文」
とは何であり、その意味す
るところは何だったのかと
いう点である。
惠信尼公がお手紙のなか
で若き日の親鸞聖人を回想
して「やまをいで、六
かくたうに百日こもらせ給
て、こせをいのらせ給ける
に」と書かれているのは何
度も引いているが、惠信尼
公は続けて、「九十五日の
あか月、しやうとくたいし
のもんをむすひて、しけん

にあつからせ給へ候ければ」
（『原典版聖典』809頁）
と、したためられている。
このなかの「聖徳太子の
文を結びて、示現にあづか
らせたまひて候ひければ」
（『註釈版聖典』811頁）
という言葉をどう受け取る
かが大きな問題で、これに
ついては次回以降考えたい
が、そのおおむね意味する
ところは、親鸞聖人は六角
堂に百日の参籠を試みられ
て、その95日目の暁——暁
というとき空が白んできたこ

ろという印象を受けるが、
当時の用法ではまだ暗い時
分——に「示現」にあずかっ
たということである。
寺院にこもってお参りし、
夢のお告げを受けることを
これまで「夢告」と表現し
てきたが、実は、惠信尼公
は夢告という言葉は使って
おられないのである。
「示現」とは、仏さまや
菩薩さまが私たちを救済す
るため、種々に身を変えて
この世に現れることをいう。
またそこから転じて、仏



京都の町なかに立つ六角堂

「夢」とも現ともわからぬ
状態で見える」。親
鸞聖人の夢告体験について
考える際に参考になりそう
な表現である。
【参考文献】名島潤慈
「日本における夢研究の展
望補遺（I）古代から近世
における夢の言葉」（熊本
大学教育学部紀要、人文科
学第43号所収）
（本紙編集部）

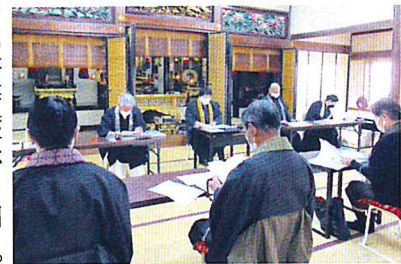
場所	京都市中京区六角通東洞院西入 堂之前町248 電話075(221)2686
交通	京都駅から地下鉄烏丸線で6分、 「烏丸御池」駅下車。同5番出口 から南へ徒歩3分。

「伝絵」第三段には「建
仁三年 癸亥 四月五日
の夜寅時、上人（親鸞）
夢想の告げましましき」
（『註釈版聖典』1044
頁）とある。夢告を授かっ
た年が「建仁三年」とある
のは注意を要するが（本連
載第31回参照）、親鸞聖人
はその年4月5日の午前2
時から4時の間に夢告を授
かったとされ、そのことに
「夢想」という言葉が使わ
れているのである。

教区内4組で僧侶・寺族らが研修

2022年12月、和歌山・海南・有田南・有田北の各組で「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の推進のため、僧侶・寺族対象の研修会が開かれた。

和歌山組(佐々木敏宏組)では12月3日、組内寺院から20人が参加して「僧侶・寺族研修会」を鷺森別院本堂で開催。岩本智依師(奈良教区奈良組常連寺)を初めて招き、「み教えと差別の現実について」のテーマで講義を聴いた。岩本師は、冊子『み教えと差別の現実』に挙げられている3つの課題、「梅陀羅」(部落差別)、「女人」(性差別)、「根欠」(障害者差別)のうち、「梅陀羅」について話した。



海南組の研修会 (光徳寺)

の研修会は、3回目。有田南組では12月15日、組内住職・衆徒11人が参加し、「人権啓発推進住職僧侶研修会」を善照寺で開催。冊子『み教えと差別の現実』、『宗報』2019年7月号掲載の「経典から差別の現実を学ぶ」ということ、岩本智依師が2020年と

2021年に教区の僧侶研修会で話された際の資料をテキストに研修を行った。経典にはお釈迦さま在世当時の時代背景により、現代の感覚からすると差別的と受け取れる文言が含まれている。しかし、お釈迦さまは当時の差別的な社会の仕組みを否定され、すべて



有田南組の研修会 (善照寺)

のものが救われていくためにおさとりを開かれた。お釈迦さまがお残しくださったお言葉から、阿弥陀如来さまが私におかけくださっているご誓願のお心を見失うことのないように、すべてのものが差別から解放されるために、そして私自身が差別しない私へと解放されるように、さらにお聴聞させていただけようとお参加者全員で頂いた。(雑賀聡・有田南組組長)



有田北組の研修会 (橘屋)

有田北組では12月18日、「寺族・僧侶研修会」を橘屋会議室で開催。島和夫師(和歌山組西覚寺住職)から「願わくは深く無常を念じて」の題でお話を頂いた。「妙好人伝」を引いた「越中幼女」の話では、7歳の娘の天然痘が重くなり、母親が「今死んだらどこへ行く」と聞くと、娘は「私は死ねば極楽へゆきます。阿弥陀さまがご馳走を用意して待ちかねてござる」と言ったという。さらに母親が「その極楽へはいかがして行くぞ」と聞くと、娘は「阿弥陀さまに背負われて行きます」と答えたという。私自身、無常について考えさせられる研修となった。その後は「新制 御本典作法」のお勤め練習を行った。(川嶋周藏・有田北組組長)

子ども報恩講でモルツクに挑戦

和歌山教区少年連盟(山本行圓委員長)主催の「第33回子ども報恩講」が12月3日に開かれ、23人の児童がフィンランド発祥の競技、モルツクに挑戦した。

モルツクは、1から12の数字の書かれた高さ約15センチ直径約5センチの木製のピンを立て、それにモルツク

倒したピンの数やピンに書かれた数字によって得点を競うもの。加茂組光輪寺の2チーム、伊那組蓮乗寺の3チームがオンラインも利用して競うことで、集まって遊ぶ貴重な機会になった。

御影堂の畳をたたいて大掃除



和歌山組では12

琵琶湖の船上で法話満喫

和歌山組の研修会は經典に現れる「梅陀羅」について(鷺森別院本堂)



欠について話を聴いた。海南組で岩本師を招いた。

第44回近畿地区仏教婦人会大会

本多昌道先生の「参らせてもらおう」という法話はとても分かりやすく、リリックスとして楽しく拝聴した。本多先生は、日本で唯一、

区仏教婦人会大会」が11月30日に滋賀教区が担当して開催され、和歌山教区仏教婦人連盟から26人が参加した。

琵琶湖ホテルでの開会のあと、午後はピアンカに乗船して船上で記念法話を聴いた。法話の前には滋賀教区の森野正子委員長さんと本多昌道講師がドラマ風コント風に掛け合いをするショートビデオ



琵琶湖の船上でモニター越しに法話を聴く

と入っていくことができた。

である沖島のお寺(願證寺)の住職。お話のなかで島の素朴な暮らしの様子を聞いていると、ピアンカは琵琶湖大橋をくぐり、その沖島が目の前に。法話が終わるころには、船はちょうど港に帰ってきていた。

琵琶湖を舞台にした研修という滋賀ならではの素晴らしいアイデアに、26人は感激しながら帰路に着いた。(中島淳子・和歌山教区仏教婦人会連盟委員長)

青色青光

で長さ約20坪の木製の棒を投げて、立てたピンにモルックを投げる

おみがきで仏具ピカピカ

控会では、11月10日、仏教婦人会の会費を磨きあげた。おみがき(写真)を、菊灯、仏飯機などを丁寧に磨きあげた。

御影堂でお煤払いに

和歌山組念仏奉仕

ぶりとなる「念仏奉仕団」で18人が西本願寺へ。

2日目は通常より30分早い午前5時30分からのお晨朝(あした)に参ったあと、阿弥陀堂と御影を大掃除する恒例の「御煤払い」に参加。

大きなうちわであおぎながら御影堂の畳を竹の棒でたたいてほこりを出すという仕事に汗を流した。

過疎問題とお寺⑦

寄り添う支援目指して

楠原 晃紹
(過疎対応支援員)

仲尾信博教務所長(当時)に推挙いただき、悩んだ末にお受けさせていただいた過疎対応支援員の活動も、1年の研修期間を含め6月で早や丸4年を迎えます。

この間に教区内のご寺院から、過疎化の急速な進行ご門徒離れ、寺院の後継者問題、今後の寺院運営での

財政面の不安、葬送儀礼の簡略化、年回法要(法事)の少人数化などについて相談を受けました。

お寺の立地環境などを拝見すると、筆者の自坊(日高郡日高町志賀)の周辺地域より過疎化が進んでいるとは思えないご寺院からの相談もありました。

例えば「門徒離れ」について言えば、そもそも離れて行かれたのではなく、葬儀など世代交代の現場で門徒の後継者と向き合っていないのでは、と感じることもありました。また、昔はこうだったと、寺院はこ

お寺の課題解決への模索をサポート

くわすこともあります。しかし今、新型コロナの

うあるべきという姿から離れられないという実情に出

ねばならないのです。7年前、鶴飼秀徳氏が『寺院消滅』という本を世に出し、私たち宗教者に少なからぬ衝撃を与えました。

私自身、自坊のご門徒さん方と向き合う姿勢や地域社会での寺院・住職の役割を重視するなど、ご門徒や地域の方々とは真摯に接することによって、お寺が皆さんから頼りにしていただけている存在になるのでは、と発想を転換したのもちょうどこの時期でした。

ではないかと思うのです。教区内のお寺への支援活動は、近い将来に寺院運営が行き詰まることのないよう、今からできることを一緒に考えようというスタンスで続けていきます。

今できる事を一緒に考える



お寺の抱える悩みや課題について相談を受ける筆者(写真はイメージです)

影響で10年後に起こり得る寺院運営の諸問題がすでに現実化しています。寺院に対する世間の見方や葬送儀礼に対する価値観が変化しつつあることに、私たち僧侶も対応してい

筆者は現在、保護司、人権擁護委員として地域での奉仕活動にいそしんでおりますが、住職個人の人格や活動が地域に浸透してこそ新しい出会いも生まれるの

お寺の悩みや課題は決して画一ではありません。お寺の現状も千差万別ですので、たっぷり時間をかけて課題を整理し浮き彫りにして、解決に向けた模索のお手伝いをさせていただくことが支援員の使命だと考えております。ぜひお気軽にお声掛けください。寄り添う支援をモットーに活動させていたただきたい存じます。(日高組妙願寺住職)

「新制 御本典作法」学ぶ

春のご本山への団体参拝に向け研修

3月29日から始まる「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」のために新しく制定されたお勤め「新制 御本典作法」を学ぶための研修会が12月9日に鷺森別院本堂で開催され、教区内の僧侶20人が参加した。

研修会では、「新制 御本典作法」の制定にも携わった講師の阿満慎介師(本願寺式務部法式儀礼専門職)が、「念佛伽陀」「宿縁讃」「頌讃」「正信念佛偈」「大信讃」「念佛」「回向句」とお勤めの流れを追いながら節回しを説明し、唱え方を実演。参加者は、今までにない曲調のお勤めに戸惑いながらも講師に合わせ声を出した。



講師の説明を熱心に聴く参加者

「新制 御本典作法」

の大きな特徴は、京都市左京区大原の来迎院と勝林院(いずれも天台宗)に伝承されてきた日本の声明の源流である大原声明(魚山声明)で用いられている節を積極的に取り入れたこと。

正信念佛偈も第一種では大原声明の「十二札和讃譜」に基づいて節が付けられ、おなじみの草譜・行譜とはまったく違う印象のお勤めとなっている。

京都国立博物館で親鸞展

京都国立博物館(京都市東山区茶屋町527)で3月25日から5月21日まで、親鸞聖人誕生850年特別展として「親鸞―生涯と名宝―展」が開催される。

坂東本といわれる親鸞聖人直筆の名著『教行信証』、安城御影として知られる親鸞聖人83歳の絵像(いずれも国宝)をはじめとする貴重な宝物を間近で見ることが出来る。

子ども作品展に104点応募

和歌山教区少年連盟(山本行圓委員長)は11月24日から12月9日まで、第25回子ども作品展を鷺森別院本堂で開催した。

この作品展には、教区内児童・生徒から、書道84点、絵画2点、塗り絵18点の合計104点の応募があった。入賞者は左記の通り。

責任役員・総代に本堂で辞令伝達

鷺森別院報恩講3日目の11月26日、門徒総代会の参拝奨励日に合わせ、和歌山教区内の寺院で新しく責任役員・門徒総代に就任された方への辞令(責任役員)と登録証(門徒総代)の伝達式が、午後零時30分から本堂で行われた。

対象は、2022年(令和4)4月1日から9月末日までに申請して責任役員・門徒総代に選ばれた33カ寺130人。出席した9カ寺(17人)の代表者に、升巴信隆教務所長から辞令・登録証と記念品が手渡された。

2021(令和3)年度 本願寺鷺森別院一般会計歳計決算

2021(令和3)年4月1日 ~ 2022(令和4)年3月31日

歳入の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	懇志	8,149,940	各種懇志
2	回付金	22,708,635	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	212,000	教化助成費等
4	維持費	4,283,150	別院護持費等
5	負担金	32,396,563	人件費負担金(教区・幼稚園より)
6	雑収入	261,674	預金利息等
7	前年度繰越金	6,076,641	2020年度より
合計		74,088,603	

歳出の部

款	費目	予算額(円)	説明
1	法務費	1,506,817	荘厳費、法要費
2	教化費	671,000	常例布教・各種教化費
3	事務費	49,966,728	人件費、水道光熱費等
4	会議費	35,655	責任役員・総代会費
5	維持費	3,567,424	営繕費、保険料
6	積立金	2,000,000	営繕積立金、退職積立金
7	回付金	10,000	公用車維持管理費へ
8	予備費	0	
合計		57,757,624	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた16,330,979円は翌年度へ繰り越し

第19回「孫市まつり」

3月26日、鷺森別院を会場に



『華の孫市』などを演奏する地元バンド「THE BEAT」(今年の孫市まつり)

第19回孫市まつり(孫市の会主催)が3月26日、鷺森別院を会場に開かれる。2005年(平成17)に始まり、すっかり地域の名物行事として定着した「まつり」は、武者行列、鉄砲演武、地元バンドの演奏、

ゆるキャラ大集合など多彩な催しで盛り上がる。孫市と信長の対決を題材にした人気の野外劇は、新型コロナウイルスの影響で前回は中止となったが、今回は復活するか。詳細は「孫市の会」のホームページでご確認ください。

鷺森別院の催し
■元旦会 1月1日、元旦会を本堂で。午前7時から正信念仏偈を行譜でお勤めし、升巴信隆輪番が年頭あいさつ。参拝者には記念品が配られる。
■常例法座 1月15、16日 荻野龍裕師(海南市黒江・浄国寺)。2月15、16日 伊井智雄師(和歌山市雑賀崎・極楽寺)。3月15、

16日 岩崎法明師(日高郡由良町里・蓮専寺)。いずれも午後1時30分からお勤め、引き続き3時ごろまで法話を聴聞する。
■春季彼岸会 3月21日、春季彼岸会を本堂で。午後1時30分から仏説阿弥陀經をお勤めし、引き続き3時ごろまで山本行圓師(紀の川市西伊坂・蓮乗寺)の法話を聴聞する。(本願寺鷺森別院 和歌山

市鷺森1番地 電話073-422-4677)
日高別院の催し
■元旦会 1月1日、元旦会を本堂で。年が明けた午前零時から正信念仏偈を行譜でお勤めし、升巴信隆輪番が年頭あいさつ。
■常例法座 1月18日 荻野龍裕師(海南市黒江・浄国寺)。午後1時から本堂でお勤め、引き続き2時

15分まで法話。
■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要 3月20日、春季彼岸会を本堂で。午後1時から仏説阿弥陀經をお勤めし、2時15分まで升巴信隆輪番の法話を聴聞。例年と同じく「御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要」を併修する。
(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話0738-22-0518)

得度

教師

10月16日
楠山頭也(御坊組浄専寺)
近藤生信(有田北組松林寺)
西川茉莉子(和歌山北組真

12月19日
中村美裕(和歌山西組建徳寺・衆徒)

敬弔

島村清子(和歌山西組覺圓寺・坊守) 11月26日
山本法道(和歌山北組浄水

寺・住職) 12月16日
生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げます。御意を表します。

響流十方

1~3月の催し

本山

1月1日 元旦会・修正会
1月8日 大御身(親鸞聖人の御真影の御身拭い式)
1月9日~16日 御正忌報恩講法要
1月30~31日 住職補任研修・住職補任式
2月7日 如月忌(九條武

和歌山教区

子さまの祥月命日法要)
2月15、16日 宗祖月忌法要
3月18~24日 春季彼岸会
1月22日 門徒総代会清掃奉仕
1月26日 近畿地区教区会議長・組長代表者・教務所長合同会議
2月9日 布教団連統法座「仏説無量寿經に聞く」

教区内各組

2月10日 第4回常備会
2月17日 ビハークラ和歌山会員・賛助会員研修会
3月9日 定期教区会
※和歌山教区の催しの会場はすべて鷺森別院です。
和歌山西組
1月未定 組内会(光源寺)
2月未定 組内会(光源寺)
3月12日 組内会(願成寺)
海南組
1月21日 組住職会(光徳寺)
1月28日 実践運動組委員会(光徳寺)
2月4日 組門徒総代会(了賢寺)
2月19日 組活動推進事業研修会(了賢寺)
伊那組
3月15日 実践運動人権啓発推進研修会(光明寺)
有賀組
3月5日 総代会(正善寺)
有田南組
3月未定 組内会(善照寺)
日高組
2月6日 ひかり編集委員会(善宗寺)
2月18日 実践委員会・組内会(信行寺)
3月4日 実践運動推進委員会・団体参拝実行委員会(妙願寺)
3月25日 組会(西教寺)

つれもて 聴こら

親鸞聖人が生きられた鎌倉時代は、源氏と平氏の戦乱や度重なる干ばつによる飢饉で多くの人が亡くなっていた時代でした。

のなりわいのために生き物の命を取らなければ生活できない人にとっては、その道は断たれていた。

しかも当時は、末法の時

親鸞聖人の説かれた教えは、当時の人々にとってどのような意味を持っていたのでしょうか。

当時の仏教の主要な考え方は、戒律を守ることや善根を積むことによって功德

代が到来しているという認識がありました。末法の時代とは、お釈迦さまの教えはあっても、それを行ずる

赤松徹眞



自らが「凡夫」と知らされる

にこう述べられます。「『凡夫』といふは、無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむところおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまでとどまらず、きえず、たえず」(『註釈版聖典』693頁)。

しかし、現代とは「凡夫」という私たちの在り方に気付いていくことが難しい時代です。現代社会は「自我」を尊重し、自分は自分でコントロールできるものと考えています。そして、自分の命は自分のものだと思いつ込んでいます。

私たちは息を引き取る瞬間まで、怒り、腹立ち、そねみ、ねたみなどの感情にとらわれ、振り回されていく存在だとおっしゃるので、そのような「凡夫」が煩惱を抱えたまま浄土に往生生まれる道を阿弥陀さま

しかし、私の命は私のものではなく恵まれた命です。阿弥陀さまの不可思議なたらきのなかにある命です。その命が、阿弥陀さまの本願によって浄土に往生生まれる身に定まる。これを親鸞聖人は「正定聚」とおっしゃった。その命を生かさなうがために、私はこの人生を生き抜いていくのです。

煩惱を抱えたまま救われる道

を得ようというものでした。しかし、ほとんどの人は戒律を守り得ない、善根を積むことも可能ではないという現実がありました。日々殺生戒一つとっても、日々

人もなければ、さとりを得る人もないという時代です。親鸞聖人の師匠である法然聖人は、そのような状況と時代認識のなかで、救われたいと考えられていた

われたのです。これによって専修念仏という仏教の新しい展開が生まれました。その法然聖人に帰依し、「雑行を棄てて本願に帰す」(『註釈版聖典』472頁)

入られたのが親鸞聖人です。親鸞聖人は、私たちの在り方を「煩惱具足の凡夫」とおっしゃった。「凡夫」とは何か。親鸞聖人は著書『一念多念文意』

鷺森テレホン法話
おにしさん
(073) 422-0243
3分程度の法話が聴けます
(月の初めごろにお話が変わります)

から恵まれている。そのことに出遇われた喜びが、親鸞聖人のご生涯の根本にあります。

(奈良県宇陀市大宇陀下片岡・眞光寺) 鷺森別院 報恩講の法話から